





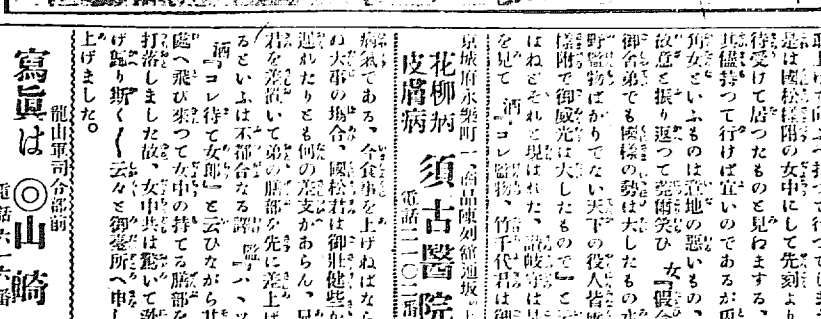




第十一席

其處へ出で参り 監「お待遠さまで」

外科 泌尿科 皮膚科  
 花柳科 瘡癤科  
 安部醫院  
 院長 安部修三  
 電話 四一九番

[illegible]


立會停止

南大門の廻穀  
 南浦洞脚五三畝 砂里院經堂九畝  
 成慶院一七七畝 水原白米 四四畝  
 成敬院一七七畝 水原白米 四四畝  
 水原院 四六畝 仁川白米三五畝  
 水原院 四六畝 仁川白米三五畝  
 出に平壤

他より捷に新見に賣つた  
より目立ちたる羽、現に  
其他より能く買取られた  
と五落し、漸く落付、座を  
返し、五錢と散會を告げ  
時早く成立を見たる大  
多かりしも、亦一面利喰  
なる立會を終りたるは取

歲末御禮  
年始御禮  
和菓子折  
原カステ  
料三也主


進物用  
詰罐入種各



爲創

業十五週年自  
本年中二割引

祝記念の  
にて大賣



度候不相  
引立の程  
願上候

二 九六五番一  
郎  
側卒一度  
ント

晉  
優秀なる  
上候  
石川縣物産  
の精良品を  
及糶賣  
諸樓上  
紹介所  
古堂

來柄


九候

一等賞金牌受領  
三  
名

人蔘酒 人蔘菓子  
人蔘葡萄酒 開城  
人蔘精 人蔘製品  
洋酒類 ウイスキー  
生葡萄酒 ベルモツ

中街藥行  
創  
爲

業十五週年自祝記念の  
 本年中二割引にて大賣  
 出し仕候間倍舊の御愛  
 顧に酬ひ度候不相  
 變御引立の程  
 奉願上候



金牌受領  
 其他滋養品多數取  
 御來店の上御一覽  
 洋酒洋食料品直轄  
 人蔘製品 千才  
 發賣 元商會  
 工場 京

第二金澤市某家  
 益々御清有之候間是非御  
 珍品澤山の役奉賀上候  
 追て右謹書會開催を謹さし下見  
 紹介所販賣の銅器、漆器、磁器、文  
 陳列し御覽可仕候間是等御覽  
 十二月二十一日、二十二、二十三  
 十二月廿四日曜日  
 場所 京城露町電話一五  
 催主 京城本町一丁目  
 札元 電話一八八四  
 電話二二三

發捕へ有之候 何卒一度  
 の程願上候  
 〰〰〰  
 輦出入商  
 二丁目「電話一八九五番」  
**大橋大三郎**  
 城青葉町二丁目  
 骨董競賣會  
 陳者前より優秀なる  
 光來被下度願上候  
 日下見  
 原金旅館樓上  
 石川縣物産紹介所  
 番佐々木聚古堂  
 正午より入札及糶賣  
 日下見  
 久津宮其住の美術品精良品を  
 願購り度願上候

御間  
を多當  
相忙業  
圖の仕

圖の工  
り折候  
來柄

○從贈答品大賣出し  
○三越好み履物陳列

来仕候  
二十九

越吳肥

店



東京 館天順谷桃 大阪



▲後場底強

▲後場の手振  
千餘石の七千餘石の四千

▲大に賣る

唐二萬五千餘石に上りて、一の事一萬四千餘石  
の要ありたるも六に注目を怠りたり

五二十五島山玄米十一  
石十一圓より八十錢迄  
て約五千噸出產なり跡見

|                          |                |              |              |
|--------------------------|----------------|--------------|--------------|
| 銀七圓六錢七錢七分四十七厘八毫七絲八忽九微五十鈔 | 銀五圓五錢四分四十九釐五十鈔 | 銀三圓二錢二分四釐五十鈔 | 銀一圓二錢一分四釐五十鈔 |
| 二十日の二月限                  | 十二日限           | 納會           | 十二日限         |

10

平和克復期遠し

獨逸は羅馬尼を陥れしを好機とし  
露和の星雲に及んだのであるが之  
依つて歐洲の戦局が遂に一頓挫を  
した様に思惟するは大なる誤想で  
る案より獨逸とても今日では其の  
力が

▲永久物

國に於て  
 來るに  
 軍の進出する事が困難なものと同時に  
 思はれない又東部戦線も同じで露  
 兵が今後は百萬乃至二百萬の新兵  
 傳兵が今後は百萬乃至二百萬の新兵  
 爲を増加したとして西方戦場は之  
 が爲に遂に其現狀に變化が起らうと  
 軍の進出する事が困難なものと同時に  
 思はれない又東部戦線も同じで露

同く又た同時

村田君が、那須野山に必要の樹皮を  
可く又た同時に朝鮮各鐵工業の發展  
を促進するに至る可し、平壤無煙炭  
田は朝鮮總督府平壤鐵業所の經營に  
屬し採掘したる石炭の九割は、徳山海  
軍鐵業所に運給す、同所にては之を  
燐炭に製造しカーデフ炭の代用に充  
てり、此の他無煙炭田は併用、順川  
及び玄山の諸郡に市街の品質優良な  
るを以て之が利用法の研究と共に

支那銀

▲銀流失の影響(承前)最近の現象を以て之を述べれば上海銀行市場の存銀は僅に一千四百萬兩に過ぎずして内外銀行を論ぜず皆枯渇の情あり銀根日に緊縮すれば利息日に巨大となる近く三年來上海銀莊の利息は最高三錢左右に過ぎざるに今は則ち三錢より四五錢に暴落せり若

礦業

日なつす諸事

礦業の現況(一)

主勞礦物の一班

朝鮮は古來各種の礦物に富むる就中  
金、無煙炭、鐵、星鉛、銅、亞鉛、  
タングステン等は其の最も重要なもの

の二郡忠清北道

る結晶質黒鉛及び威鏡南海永興定平の二郡、忠清北道沃川郡慶尚北道尙州郡に於ける土狀黒鉛を以て主要のものとする主として内地の鑛業家に依り採掘せられ鱗狀黒鉛は主として内地の需要に供し土狀黒鉛は海外に輸出す

今後の政

幸なり  
 今後の救済方法  
 日頃來  
 利息は已に五厘より七八厘に騰貴し  
 糶金打歩忽ち騰りて七銭に至り己に  
 規定の最高利率に達せり若し早く此  
 れが救済の道を謀らざる時は市面

の東洋合同銀行

初、東洋合同、業、會社に屬する平安  
北道、釜山、金山にして之に次ぐもの  
同じく、京城、鐵業會社、の經營にかゝ  
る、郭山、道邊、女嶺山にして、朝鮮、鐵、金、銅  
の約五割は此處、嶺山より產出する  
して、昌城、佛羅、人、金、嶺山及び、米、國、會社  
所屬の、稷山、金、嶺山亦大規模の、操業に  
移らざるは、鐵、城、古河、金、嶺山は、現、時、試  
掘するも、遠からず、相當の、規模、を、其  
の、主、業、產、出、に、至、る、可、く、有、す

郡等には今後

郡等には今後の試掘に依り其の價値の判明せらるゝものなきにあらず  
 △亞鉛 亞鉛は藤田組の經營に屬する平安北道邊郡摩氏嶺山を最とし其の他諸所に發見せられ内地亞鉛製鍊所の需用を充しつゝあり  
 △重石 タングステン 嶺は江原道金剛山四近及び忠清南道晉陽郡に存するものは望を嘆すべく其の他諸所に發見せられ其の價値は亞鉛に比し倍に高きものあり

銀貨は已に枯

銀貨の製造は、已に枯渇した。處の者は、最早、幾くもなし或は各銀行は大、餘の銀貨を他より上流へ移し、輸入市場の幾分の緩和を見ん。若し輸出、貨物の活動するあらば所存の通貨は流通するに足らずして一旦商業の停滯を來さば、人々忽ち恐慌して銀貨の收買に努め、現貨幣は更に逼迫せらる。故に今の計は貨幣の使用を節約するの外に、良法は、貨幣に於ける信用の喪失を速せず、彼此出入均しく

總督府に於て

健佐州、表外州の新興の三金銅地は、  
 總督府に於て試掘中なるを以て其の  
 銅業的價値の闡明せらるるは遠き將  
 來にあらざる可し

△無煙炭 無煙炭は朝鮮に於け  
 る主要且つ特有の產物に於し、其  
 の優越せる特性は豊富なる炭量、

らず朝鮮に於て  
一たるべし

一たるべし  
 らず朝鮮に於ける重要な鱈産物の  
 たるべし  
 △其他 金銀銅鉛及び亞鉛の混合  
 は現時豫行せらるるもの極めて稀な  
 りと雖も南鮮地方に多く賦存するが  
 故に朝鮮に於ける形式製練の發達と  
 其比之が開發を見る處とに非なべし

比すれば繁多

に比すれば幾多なり加ふるに銀行の出入貨貨貨を用ひ而して支那貿易には洋元を通用す故に一商家は二重の準備あるを要す外國に在りては唯一準備の準備にて足るも支那に於ては必し二種の準備を要す之に因りて通貨の準備は尤も緊き者なり（未完）

[illegible]

男 女 御 子 供 用

羅紗マント類、洋服、帽子、首巻、肩掛、メリヤス一式、アブロン、ヨダレ掛、學生袴、其他小供物種々

〔販〕 まからんや號子供物部

メリヤス一式、毛布、肩掛、首巻、ワイレヤツ、手袋、タオル、ハンカチフ、タリヤス足袋、眞綿チヨツキ、羽織紐、厚司、其他各種

京 城 本 町

〔販〕 まからんや號雜貨部

電 話 四 七 番

は 物 が 一 番  
喜 ば れ る

大正國民日報  
 第三千四百九十九號  
 十一月九日  
 十一月九日

# 大正國民日報

日記中の白眉——歲末年始の  
 五百頁 定價金四拾五錢 郵稅八錢

日常生活の記錄たる日記は内容體裁  
 の最も進歩し最も完備したるものを  
 要す我が國民日記は其の編纂の周到  
 にして趣味と實益とを兼ね且つ裝幀  
 の清雅堅牢なるに於て幾多の類書中  
 嶄然傑出し好評噴々たり直に一本を  
 求めて新生活の新記錄とせられよ  
 發行所 東京市京橋區日吉町  
 振替口座三三三三 民友社  
 賣捌所 京城太平通一丁目  
 振替京號三〇〇番 京城日報代理部  
 取次所 京城日報社各地支局

## 子供之友 新年號

新大附錄 桃太郎双六  
 伊勢神宮初まりり (繪) 子供  
 正月の餘興大懸賞 (繪) 子供

## 新少女 新年號

新大附錄 少女運動双六  
 小静子の千里眼 (繪) 子供  
 小説野越り山越り (繪) 子供











凄き夜

はねば、已まじとの意氣組が知られた。麒麟も、可なり唇に落ちたらしい態度で、上の空でなり説明の二、三、一什を繰返して居られる。男爵の風貌は、鷹狩と云ふよりも反つて豪傑肌に近い方で、紺赤髪を束んだ眼が、三國志の關羽のやうに胸の上半部を蔽つて居る。是を自からなる威厳と云ふのであらう。鰐はわは四十五、六。眼には煙たう一種の輝きが備はつて、プラチナ縁の眼鏡は、特にその輝きの上塗を爲て居た。

「閣下、概略は御合點が参りました御座いますか。」

「實業家は、鰐君の丈の事を鰐君に盡くしたと見て、恐るゝ最後の金金を押しながら、鰐皮の買入れから金を一本抜き出して、それに煙草の火を移した。」

「お加へ下さる事が出来ますれば、その他の事は、一切手前との方で、お膳立てを致しますので、閣下、御手勞やお手数を煩はします事は、微塵も御座りませんので……………」

「いや、それは乃公も承知してゐるがやがの。御承知の通り、乃公も餘りきまつゝ會社や事業事に名を出し過ぎて居るもんぢやからの。何れかの道、わるうは計はんから、兩三日間の所を考へさして貰ひたいぢや。」

「然う仰せらるゝならば、是以て少し方は御座いせん。では兩三日中由に改めて、お供ひ致す事に致しますが、その御は何分宜しうお願ひ致しますので御座います。」

金井と呼ばる實業家は、笑ひながら

「さういふ御坐います。」  
「甚だ困つた奴ぢやうの。それなら、  
乃公が行つて、叱り付けても、醫師  
診せしで還らにやならん。大概後  
の腫座敷に居るんぢやうの。」  
「はい、お千代さんがお附き申し  
お在のやうで御坐います。」  
「ふむ、千代が看護婦の役目を勤  
むのか。どりや乃公が一見見舞  
て遣はさう。腫座敷の方は、陰氣  
暗いから、早く瓦斯を點けて置か  
ざ可からう。」  
「直則男爵は、つと起ち上つて、下  
のヌリッパを足に引掛けられた  
激しき雨の庭面を見やつて、流石  
少し躊躇せられた。」  
「似、お前氣の毒ぢやが、雨傘を  
かざして來て呉れんかの。」

●湖南線へハ  
卓

澤貨敵へる天幕の借り物  
群山脚  
汽笛鳴る霜積む自轉車積む  
切符落せし鮮人の慌て霜  
地脚舞  
小驛の櫓内に菊の立ち枯れ  
路切木の旗振る寒さうな  
放り雁のすれ／＼丘夕日映。  
刈田群れ立つ鴨の跼音

○平家再會  
(二)

蒼浪にひき果れて千鳥島  
疑ひゆきて神に驚くる子馬鹿く  
留置や千鳥の眠る 干潟石  
留置の魚に交する 千鳥かな  
神の影照輝の清の天黒し  
神の留守がちらびけるよしの葉  
神の放牧佐の海の家風  
樹木に紅葉の雨の神の留守  
雲の紅紫の雨や神の散居  
神衣の白衣あたり神の留守  
袖花と荒木道の砂の神の留守  
雲附け紅紫の中神の留守  
阿呆は日中の影の神の留守  
いたぐい娘の肺や杵米

蛇笏選一

新刊紹介

唐詩大日本帝國御製皇統大系圖  
巻の大要一様體形式にして、約萬句を詳載し、起し終つて以て來現に至る迄の約萬句を詳細に記述し、

天

新田帶草總代理店

【物價保衛一級發賣特許通証】

鐵 鋼 材

浪板、平板

針金、洋釘

白 神 洋 行

京 城

三井物産株式會社

ベイント、油類一切、  
 コークス、セメント、  
 耐火煉瓦、モルタル、  
 スコップ、シャベル  
 帶草、ロープ  
 機械、工具  
 附屬品  
 其他

白粉の數は澤山あります。か  
一番良いののは御園白粉です。

御園白粉

金二十錢 金三十五錢 金七十五錢

何故御園白粉が一番良いてせう  
鉛分なく、ハリ、好く、ビよく

胡蝶園 錦

芝不六連 青島出  
 高相 九 十二月廿二日正午出帆  
 相模 九 十二月廿二日正午出帆  
 江原 九 十二月廿二日正午出帆  
 芝不六連 青島出  
 高相 九 十二月廿二日正午出帆  
 相模 九 十二月廿二日正午出帆  
 江原 九 十二月廿二日正午出帆

|           |  |         |  |
|-----------|--|---------|--|
| ○外航船開船時刻表 |  | ○大阪商船出帆 |  |
| ○時日五分     |  | ○時日五分   |  |
| ○往上海      |  | ○往上海    |  |
| ○往香港      |  | ○往香港    |  |
| ○往汕頭      |  | ○往汕頭    |  |
| ○往廈門      |  | ○往廈門    |  |
| ○往福州      |  | ○往福州    |  |
| ○往廣州      |  | ○往廣州    |  |
| ○往汕頭      |  | ○往汕頭    |  |
| ○往廈門      |  | ○往廈門    |  |
| ○往福州      |  | ○往福州    |  |
| ○往廣州      |  | ○往廣州    |  |
| ○往汕頭      |  | ○往汕頭    |  |
| ○往廈門      |  | ○往廈門    |  |
| ○往福州      |  | ○往福州    |  |
| ○往廣州      |  | ○往廣州    |  |
| ○往汕頭      |  | ○往汕頭    |  |
| ○往廈門      |  | ○往廈門    |  |
| ○往福州      |  | ○往福州    |  |
| ○往廣州      |  | ○往廣州    |  |
| ○往汕頭      |  | ○往汕頭    |  |
| ○往廈門      |  | ○往廈門    |  |
| ○往福州      |  | ○往福州    |  |
| ○往廣州      |  | ○往廣州    |  |
| ○往汕頭      |  | ○往汕頭    |  |
| ○往廈門      |  | ○往廈門    |  |
| ○往福州      |  | ○往福州    |  |
| ○往廣州      |  | ○往廣州    |  |
| ○往汕頭      |  | ○往汕頭    |  |
| ○往廈門      |  | ○往廈門    |  |
| ○往福州      |  | ○往福州    |  |
| ○往廣州      |  | ○往廣州    |  |
| ○往汕頭      |  | ○往汕頭    |  |
| ○往廈門      |  | ○往廈門    |  |
| ○往福州      |  | ○往福州    |  |
| ○往廣州      |  | ○往廣州    |  |
| ○往汕頭      |  | ○往汕頭    |  |
| ○往廈門      |  | ○往廈門    |  |
| ○往福州      |  | ○往福州    |  |
| ○往廣州      |  | ○往廣州    |  |
| ○往汕頭      |  | ○往汕頭    |  |
| ○往廈門      |  | ○往廈門    |  |
| ○往福州      |  | ○往福州    |  |
| ○往廣州      |  | ○往廣州    |  |
| ○往汕頭      |  | ○往汕頭    |  |
| ○往廈門      |  | ○往廈門    |  |
| ○往福州      |  | ○往福州    |  |
| ○往廣州      |  | ○往廣州    |  |
| ○往汕頭      |  | ○往汕頭    |  |
| ○往廈門      |  | ○往廈門    |  |
| ○往福州      |  | ○往福州    |  |
| ○往廣州      |  | ○往廣州    |  |
| ○往汕頭      |  | ○往汕頭    |  |
| ○往廈門      |  | ○往廈門    |  |
| ○往福州      |  | ○往福州    |  |
| ○往廣州      |  | ○往廣州    |  |
| ○往汕頭      |  | ○往汕頭    |  |
| ○往廈門      |  | ○往廈門    |  |
| ○往福州      |  | ○往福州    |  |
| ○往廣州      |  | ○往廣州    |  |
| ○往汕頭      |  | ○往汕頭    |  |
| ○往廈門      |  | ○往廈門    |  |
| ○往福州      |  | ○往福州    |  |
| ○往廣州      |  | ○往廣州    |  |
| ○往汕頭      |  | ○往汕頭    |  |
| ○往廈門      |  | ○往廈門    |  |
| ○往福州      |  | ○往福州    |  |
| ○往廣州      |  | ○往廣州    |  |
| ○往汕頭      |  | ○往汕頭    |  |